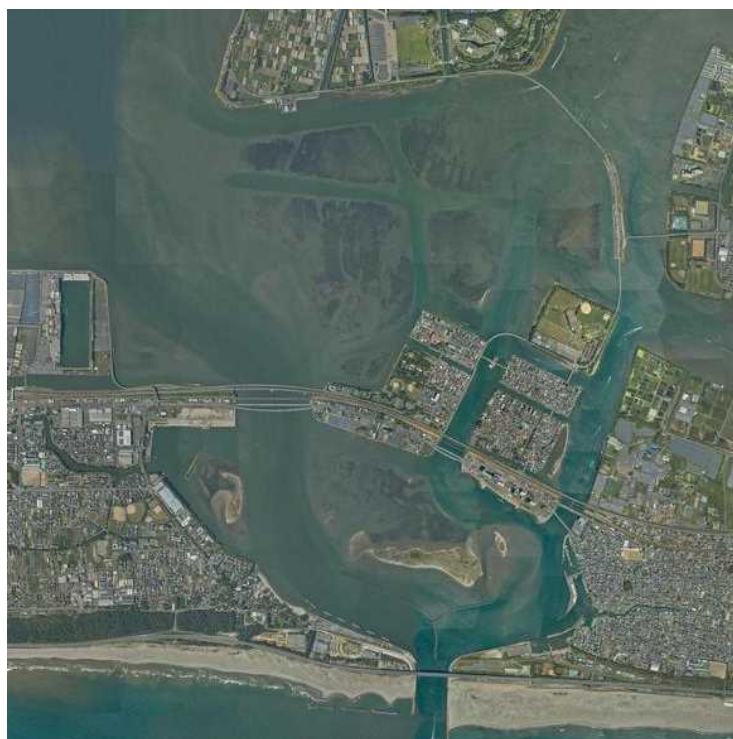


資料3：浜名湖におけるUSVを用いた調査イメージ

USVは有人船の進入が困難な水深50cm～1m程度の浅瀬の測深に使用します。実際の湖上には、他の船舶や暗礁などの障害物があるため、完全な自律航行とはせずに、並走する有人船から目視により周囲の状況を監視しながら、必要に応じて手動操縦による回避行動を行う形で運用します。

浜名湖においては南部を中心に、また北部の猪鼻湖においては沿岸部の浅瀬を中心にUSVを投入して測深作業を行う予定です。



浜名湖河口付近の空中写真（地理院地図）



有人船並走によるUSV操縦イメージ（中海での調査）